

食 家









福
徳
の
神
事

プロホリスのど箱

BATMAN



Mask

Person in purple jacket

Large metal pot

早ゆで FineFast 3 500g x 20 16分

Skewers in plastic bag

Roll of tape

ぜんざい

焼き
アムィアロ



お知らせ

あったか冬まつり
みんなであってね

日時 12月26日 12:30~15:30
場所 八下西地区会館
主催 リトルツリーみんなの家
子どもには 無料参加券あり

参加券

なまえ

とし

住所 または 小学・中学・高校名

すべて50円

おでん(各種)

ココア 甘酒

豚汁

ポップコーン

わたがし

おぜんざい

子供無料参加券
子どものみ有効

参加券 1

参加券 2

参加券 3

参加券 4

参加券 5

参加券 6

無くなれば
50円券を

買ってね



とまとちゃん 福祉基金

「リトルツリーみんなの家」は、静かな住宅地の一角の古民家を活用し、子どもから高齢者まで親しめる、みんなの居場所づくりを行っています。

訪問団体：
リトルツリー
みんなの家
(堺市東区)
訪問月：6月

子どもも高齢者も、 みんなが気軽に集える居場所に

バス通りから一歩足を踏み入ると、入り組んだ迷路のような道。昔ながらの住居と新しい住宅が入り混じった街並みからは、さまざまな人たちのくらしが見えてきます。そんな町角の古民家を買って、代表の山本さんは子ども食堂を始めました。

「リトルツリーみんなの家」では、第1、第4土曜日のお昼は自分たちで、第2、第3土曜日は別の団体にこの場を提供して、子ども食堂を開催しています。「毎週土曜日は子ども食堂の日として定着させたい」と山本さん。訪問した夏は、新型コロナウイルスの感染防止のため、予約制でお弁当を配布されました。

午前9時、ボランティアさんがお弁当の準備を始めます。また、お弁当とは別に、「安くておいしい果物も食べてほしい」と、知り合いから毎回調達し、玄関先に並べられています。訪問した日はバナナが100円でした。「これが楽しみで」と、ご近所の高齢者がさっそくやってきました。「食材は、とまとちゃん福祉基金による支援のおかげで充実できています。

別会計ですが、デザートも提供できています」と、運営メンバーが手渡していました。

「リトルツリーみんなの家」を運営する中心メンバーは、子ども会や学童保育で知り合ったママさんたちなど7名。それ以外にも、野外イベントのときには、ご近所のみなさんが協力してくれます。お弁当の準備中にも、「来月の企画は手伝うよ」と、中年の男性が訪問してきました。

11時半、予約していたお弁当の受け取りに、子どもたちがやってきました。1時ごろには用意したお弁当はほぼなくなりましたが、毎回欠かさず一番にやってくる一人暮らしのおじいちゃんが、今日は来ません。お弁当の配布を終えたメンバーが、おじいちゃんの家にお弁当を持って訪ねていました。食堂は、地域の見守り活動にもなっているのです。

「子どもや高齢者だけでなく、地域みんなの力を借りて、みんなの居場所にしたい」と、山本さんは言います。



メンバーのみなさん



お弁当づくりのようす



できあがったお弁当